

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月13日(木)

事務事業		ハッピーエンゼル支援事業		担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	29322	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市早期不妊検査・不育症検査費補助金交付要綱 深谷市早期不妊治療費補助金交付要綱 深谷市不妊治療費補助金交付要綱（令和5年度で廃止）					
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率が下がり、妊娠・出産に係るリスクが高まる。子どもを望む夫婦に対し早期不妊検査、不育症検査及び早期不妊治療に係る費用の負担軽減を図ることを目的として事業を実施することにより、少子化社会対策の推進を目指すものである。								
目的 ※何のために		経済的負担を理由に不妊検査や不育症検査及び早期不妊治療をあきらめる夫婦の減少を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		・妻が43歳未満で不妊検査・不育症検査を受けた夫婦・妻が35歳未満で初めて体外受精又は顕微授精治療（保険適用）を受けた夫婦及び保険適用前の治療で経過措置該当者								
手段 ※どのように		早期不妊検査・不育症検査費補助金…妻が35歳未満3万円、それ以外2万円を限度に検査費を補助。早期不妊治療費補助（保険適用）…10万円を限度に治療費を補助。								
成果 ※何を求めるか		経済的負担の軽減及び治療機会の増大に繋がる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	母子保健費	ハッピーエンゼル支援事業	1,568,000
本事業の 主な業務		・不妊相談							・	
		・早期不妊治療費補助金交付							・	
		・早期不妊検査費補助金交付							・	
		・不育症検査費補助金交付							・	
		・男性不妊治療費補助金交付							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		保険適用に伴う不妊治療補助制度改正 ・早期不妊治療費補助事業開始	35歳未満の不妊検査・不育症検査における助成額を3万円に増額 ・不妊治療費助成事業（年度末で廃止）				
事業費	予算（現額）	9,400,000	4,000,000	2,680,000	2,680,000		
	決算額	4,257,000	1,568,000	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	1,133,000	808,000	1,180,000		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	3,124,000	760,000	1,500,000		
人件費	従事職員数（人）	0.20	0.22	0.20	0.20		
	人件費相当試算※	1,573,912.00	1,762,237.00	1,672,180.00	1,672,180.00		
総事業費試算		5,830,912	3,330,237	4,352,180	4,352,180		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	助成事業メニュー数	目標値	事業	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		実績値		4.00	4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度の実績から目標値を設定/助成事業メニュー数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	早期不妊検査費助成数	目標値	件							
		実績値		37.00	31.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるため、目標値の設定はできない / 助成者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	不育症検査費助成数	目標値	件							
		実績値		3.00	4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるため、目標値の設定はできない / 助成者数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	不妊治療費助成件数	目標値	組							
		実績値		54.00	8.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるため、目標値の設定はできない / 助成者数						
	実績値の算出式									
成果指標 4	妊娠確認数	目標値	件							
		実績値		16.00	5.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			本制度の利用により、妊娠に結びつくとは限らないので目標値の設定はできない / 治療実施証明書からの確認数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	事業のメニュー数は変更なく実施した。 不妊治療費補助事業については、県の早期不妊治療費助成事業が経過措置期間を設けていた関係で、市でも令和5年度までは経過措置期間として申請を受けた。 早期不妊検査・不育症検査・早期不妊治療の補助事業を継続して実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	早期不妊検査費・不育症検査費助成件数は、例年多少の増減はあるが、変わらず申請があった。 早期不妊治療費助成件数は不妊治療費が保険適用になったことに伴う制度改正で、妻が35歳未満の夫婦等の初めてうける体外受精又は顕微授精治療としたことから、申請件数は減少している。 妊娠確認数は申請件数の減少に伴い、減少しているが妊娠率は向上した。
評価者			保健指導第1係長 石川 初恵 保健指導第2係長 小井土 和美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	埼玉県早期不妊検査費・不育症検査費に基づき事業を実施しているため、独自の事務を行うことは難しいが、適切に事務を行っている。
評価者			保健指導第1係長 石川 初恵 保健指導第2係長 小井土 和美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和4年度、埼玉県早期不妊検査費・不育症検査費助成制度の助成額が増額となることから、市でも要綱改正を実施する。
達成状況及び その効果	妻の年齢が35歳未満のかたの助成額を3万円に増額するため深谷市早期不妊検査費・不育症検査費補助金交付要綱の要綱改正を実施することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ハッピーエンゼル支援事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	29322
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>不妊検査や不育症検査、特定不妊治療は子どもを望む夫婦にとって、身体的・精神的・経済的にも負担が重いことから、若い年齢の夫婦が検査や治療に挑むきっかけとなるよう事業の継続が必要である。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 笠原 正幸				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	早期不妊治療費助成制度等について、医療機関や広報、ホームページ等を通じて、市民への周知を図っていく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	特定不妊治療等が保険適用になったことから、治療費は保険適用前と比較して、軽減しているが、治療を受けるかたの身体的、精神的、経済的負担は変わらないことから、今後も国・県の動向に注視していく。

8. 評価指標グラフ

